

(様式7-3)

政務調査活動・先進地調査等 報告書

平成31年2月 4 日

三田市議会議員 厚地 弘行 様

本会派(私)は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	市民の会	代表者		印
		議員名	檜田 充	印
派遣者氏名				
視 察 先	〒471-8501 豊田市西町 3-60 豊田市役所 ☎0565-34-6566			
	〒430-0928 浜松市中区元城町 103-2 浜松市役所 ☎053-457-2505			
	〒439-8650 磐田市国府台 3-1 磐田市役所 ☎0538-37-4822			
調査事項 (調査目的)	豊田市：「A I活用の総合案内サービス実証実験」について 浜松市：「駐車場シェアの実証実験」及び「青春はままつ応援隊」認定制度について 磐田市：「しっぺいのマンホールカード配布」及び「スポーツ部活」			
日 時	平成31年 1月 29日(火曜日)～平成31年 1月 31日(木曜日)			
視察先対応者	豊田市：議会事務局 1名(会場への送迎のみ) 総務部行政改革推進課 塚田 良課長 総務部行政改革推進課 樋井 功二主査 浜松市：議会事務局調査法制課 鈴木啓友課長、河合一輝氏 総務部政策法務課経営推進 山本治之課長、宮野浩和主任 市民部次長市民協働・地域政策地域政策課 岡安章宏氏 同 藤田裕課長補佐、同 飯田智也氏 磐田市：議会事務局 青島治子主任 環境水道部下水道課 匂坂正勝課長、桑原孝浩副主任 自治市民部スポーツ振興課 天野敏之課長補佐 静岡県教育委員会健康体育課 清水孝彦教育主幹			
添付資料	・視察先対応者名刺(写) ・視察事項説明資料(写) ・その他参考資料			

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

調査日時	平成31年1月29日(火) 14時00分～16時00分
視察先	〒471-8501 豊田市西町3-60 豊田市役所 ☎0565-34-6566
調査事項	「AI活用の総合案内サービス実証実験」について
<p>(調査結果の概要及び所見)</p> <p>三菱総研が主宰する「行政情報標準化—AI活用研究会」に参加して、人口知能(AI)の活用による行政サービスの向上及び業務効率化の効果を検証した。</p> <p>約700の質問、回答文(三菱総研が作成)にひもづけるWebページのURLなどを登録することにより、市民が欲する行政サービスを提供しようとするもの。また県と連携・共同してサービスの構築も可能である。</p> <p>参加対象者は市職員と市政モニター参加者住民200人</p> <p>市民にとっては、時間を気にすることなく、24時間問い合わせが出来、市にとっては問い合わせが減ることで時間外業務が減り、また、問い合わせデータを蓄積・分析して、施策に反映できる利点が考えられる。</p> <p>(所見)</p> <p>公務員についても働き方改革が叫ばれているが、職務内容(仕事)はより複雑多岐となり、住民が求める行政サービスも増加している、一方で厳しい地方財政の中で、職員数は減りこそすれ、増えることはまず考えられない。そうした中で注目されるのはAIの活用である。今回の実証実験では700の事例に基づき参加した自治体のHPへ誘導して各自治体の行政サービスを紹介するものだが、事例数を各自治体のすべての行政サービスに拡大することや、他にもコネクティッドカーを活用した道路保守点検やAIの音声認識による議事録作成、防災関係のSNS速報配信等、職員数の減に対応した市政運営に大きな効果を生み出す切り札となるのではないかと考える。</p>	

交付対象議員は会派名、議員名を記入してく

調査日時	平成31年1月30日(水) 10時00分～12時00分
視察先	〒430-0928 浜松市中区元城町103-2 浜松市役所 ☎053-457-2505
調査事項	「駐車場シェアの実証実験」及び「青春はままつ応援隊」認定制度について
<p>(調査結果の概要及び所見)</p> <p>「駐車場シェアの実証実験」について</p> <p>タイムズ24(株)、損保ジャパンと連携して、インターネットを活用して、空いている駐車スペースを来訪者に貸し出すサービス。祭りやイベント開催時に有効である。</p> <p>自宅前の空きスペースや契約のない空車室、ビルや店舗の空きスペース、営業車のいない時間の車室等を活用し、300円～2000円程度で貸し、所有者に60%還元。システム構築や駐車スペース確保はタイムズで、トラブルには損保ジャパンが担当、市は情報提供とのこと。来訪者が多く、駐車場の確保が難しく交通渋滞の発生が予想される場合に有効である。</p> <p>「青春はままつ応援隊」について</p> <p>市長との意見交換会の場で、地域活性化を目的とした活動をしている高校生から「市の応援が欲しい」との意見から実現。現在は3校を認定している</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、浜松学芸中学校・高等学校 <ul style="list-style-type: none"> 地域の魅力をテーマとした冊子・カレンダーを作成し情報発信を続ける 2、天竜高校 <ul style="list-style-type: none"> 天竜美林を活用した地域活性化を調査、間伐材を利用した木質ペレット生産を提案等 3、浜松江之島高校 <ul style="list-style-type: none"> 地場産業である浜松注染手拭のデザイン／制作／販売 <p>マスコミにも大きく取り上げられ、地域に大きな夢と希望を与えている。</p> <p>(所見) イベント開催時の駐車場確保はイベントの成否のカギを握る。空いたスペースをノウハウを持った民間会社と連携して活用する取組みは有効である。駐車場の予約が出来ることにより、集客を増やせることが出来る施策である。</p> <p>また、地域の魅力を発見し成長させようと情報発信する高校生を応援する施策は素晴らしいと思う。今後は成長しても地域に残って活動を続けてくれることを願います。</p>	

調査日時	31年1月31日(木) 10時00分～12時00分
視察先	〒439-8650 磐田市国府台3-1 磐田市役所 ☎0538-37-4822
調査事項	「しっぺいのマンホールカード配布」及び「スポーツ部活」について
<p>(調査結果の概要及び所見「しっぺいのマンホールカード配布」)</p> <p>磐田市のイメージキャラクター「しっぺい」のマンホールカードを作成。国土交通省や下水道関連団体で結成された「下水道広報プラットフォーム」が企画監修する制度に応募し、市民に下水道に関心を持ってもらうきっかけとする目的で平成30年2月に発行が決定。</p> <p>カードをスマホアプリ「ARラボ」で撮影すると「磐田市スポーツプロモーション動画」が見られ、磐田市の最大の売りであるスポーツをしっかりとアピールしている。</p> <p>「スポーツ部活」</p> <p>静岡県「地域スポーツクラブ」設立のモデル事業として実施</p> <p>目的は1) 中学生のスポーツ活動の機会充実 2) 中学校教職員の負担軽減 3) 企業や大学等地域とのスポーツ連携の促進</p> <p>背景としては少子化が進む中で、各中学校の生徒数も減っており、学校によっては生徒の希望に応えられなく可能性がある。</p> <p>内容は、希望する部活がない生徒に、活動の場を提供する「部活」と、興味や関心のある生徒を対象に専門的な指導を行う「スポーツ塾」及び、新たなスポーツの体験を希望する生徒を対象とする「体験教室」となっている。</p> <p>小規模校における「部活」や3種目で実施しているスポーツ塾、体験教室とも順調に推移</p> <p>(所見) 磐田市の強みである「スポーツ」をフルに使って「まちづくり」を進めようとしている姿勢が伺える。マンホールカードもスポーツの動画に誘導している。また、カードの配布も観光案内所1ヶ所に固定し、市内観光に誘導されているのも素晴らしい。</p> <p>スポーツ部活も、サッカーやラグビー等国内でも一流のチームを持つ強みをいかんなく活かされている。また、少子化で中学校の生徒数が減少することを見越しての施策を進めていることに敬意を表したい。併せて、国や県が進める政策に上手く乗っかって経費の節減を図っている点にも注目したい。</p>	

交付対象議員は会派名、議員名を記入してく

『AI 活用の総合案内サービス実証実験』について（回答）

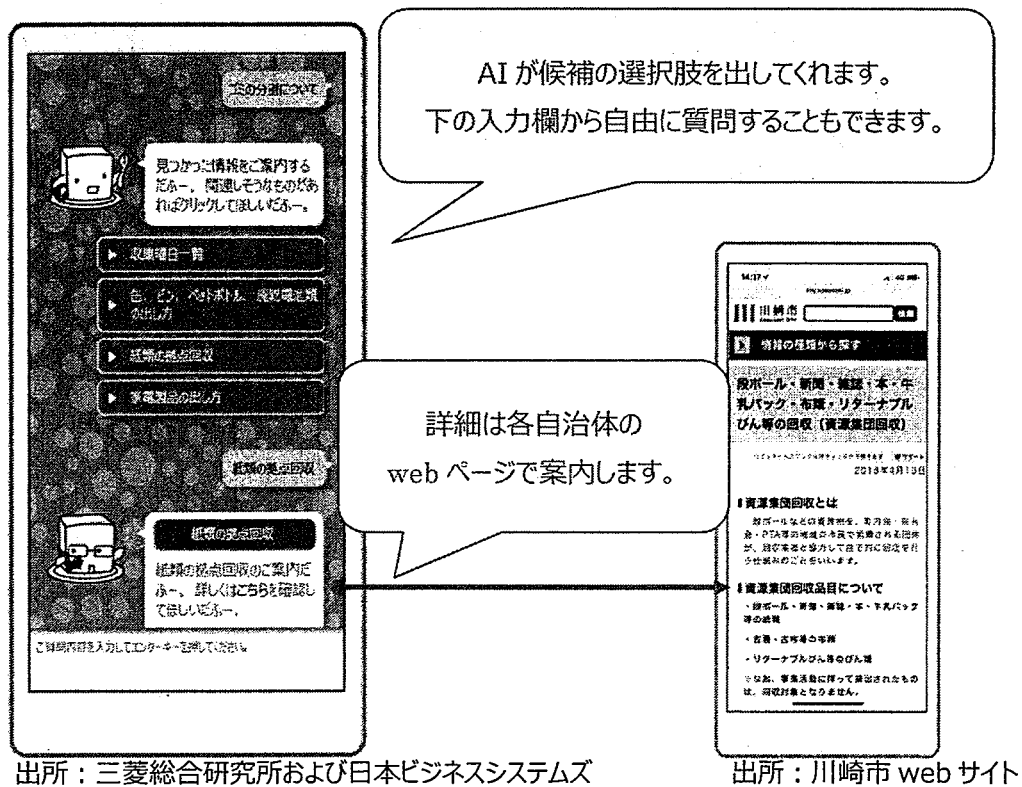
1. 事業概要について

(1) サービスの概要

住民がスマートフォンから AI と対話（チャット）しながら、行政サービスの手続きや制度に関する質問に答えるものです。最終的な回答は、自治体の web ページに誘導する仕組みとなっています。検索と違って知りたいことが曖昧でも、AI とやりとりすることで必要な情報にたどり着くことができます。

※対応分野…妊娠・出産、子育て、教育、結婚・離婚、引越し・住まい、就職・退職、高齢者・介護、ご不幸、戸籍・住民票・印鑑登録（など）、税、国民健康保険、国民年金、水道・ガス・電気、交通、駐輪・駐車、都市計画、ごみ・環境保全、食品・衛生、ペット、消費生活、健康・医療、文化・スポーツ・生涯学習、市民活動・コミュニティ、防災、防犯、救急・消防（26 カテゴリ）

※サービスイメージ図



駐車場シェアの実証実験について



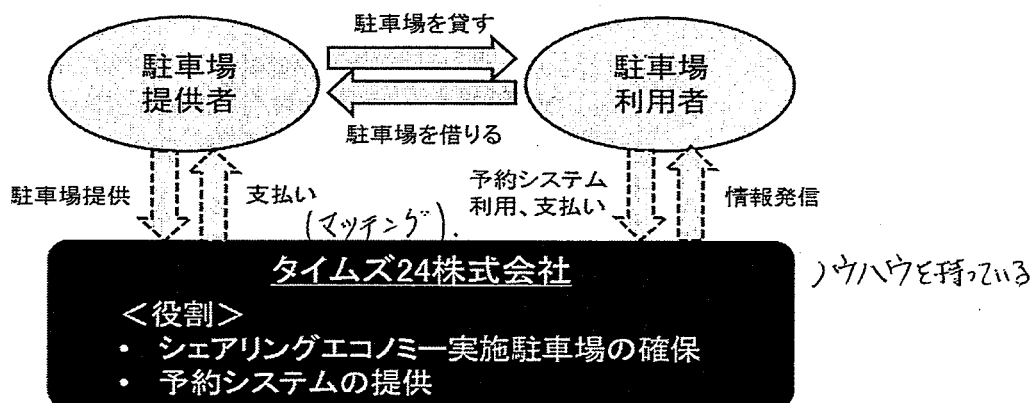
浜松市
HAMAMATSU CITY

総務部政策法務課経営推進担当
平成31年1月30日(水)

1

概要

シェアリングエコノミー…インターネットを介して、個人間でモノや場所、技能などを取り引きするサービス形態。
主な取り組みに、いわゆる「民泊」の「Airbnb」、遊休資産の活用を行う「スペースマーケット」、
観光体験プランを提供する「TABICA(タビカ)」などがある。
駐車場シェア…インターネットを活用して、空いている駐車スペースを来訪者に貸し出すサービスで、シェアリングエコノミーの一形態。



連携

浜松市

- ・ 駐車場サービス情報の提供(市民への説明)

「民⇄民」で行われるシェアリングエコノミーの取り組みを公益目的から側方支援

損保ジャパン日本興亜株式会社

トリアプル対応

<役割>

- ・ 事故対応(施設に起因する賠償責任を補償する保険の提供)
- ・ シェアリングエコノミー実施駐車場の確保

2

、初動速報、等

しっぺいマンホールカードについて

磐田市環境水道部下水道課